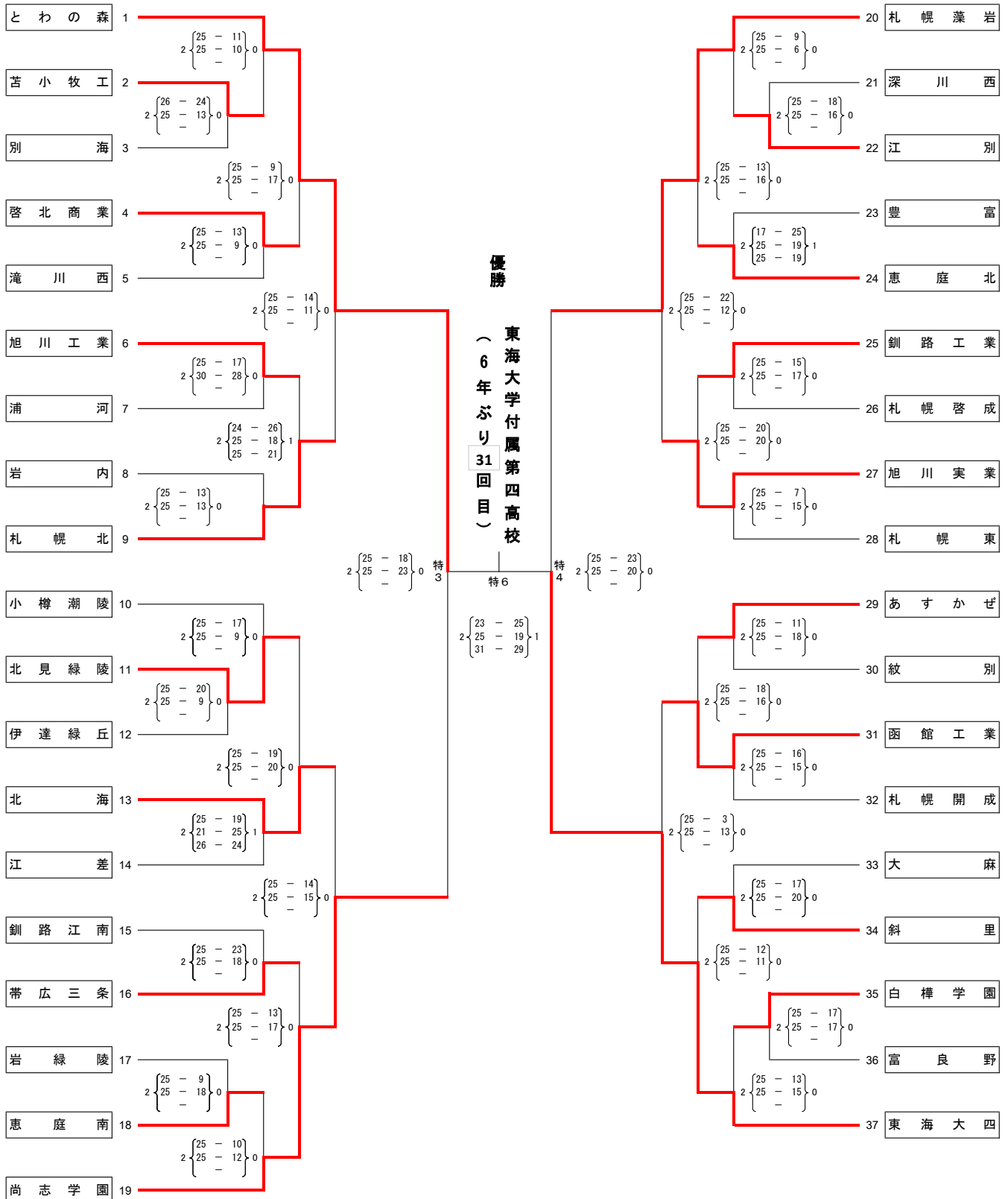


大会名 第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦

大会委員長 大江 憲一
 競技委員長 大田 中淳
 審判委員長 鈴木 和彦
 総務委員長 山 上 章 治

日時 平成25年11月19日(火)～22日(金)
 会場 北海道立総合体育センター

【男子】



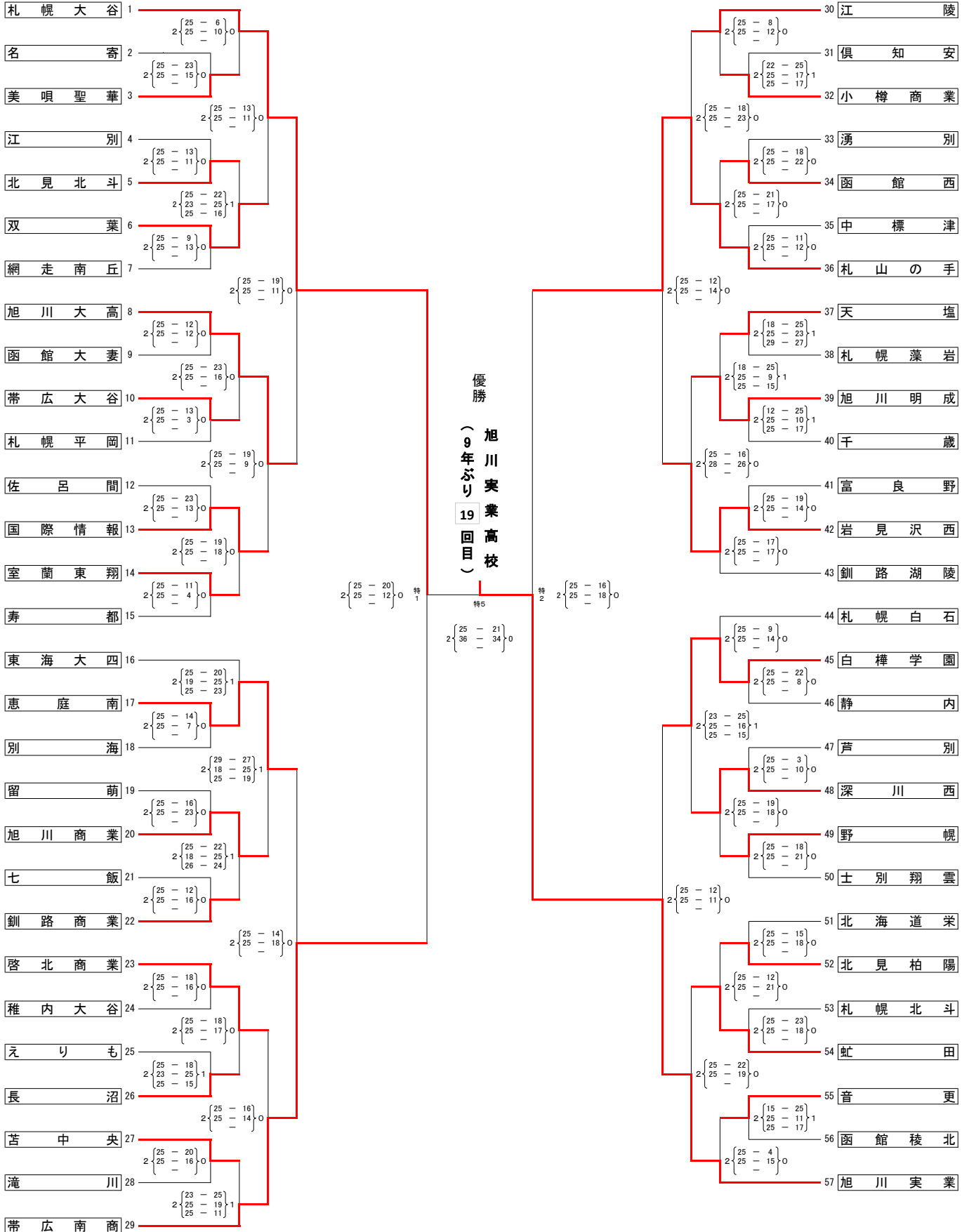
【男子決勝 戦評】
 1セット目 お互いにサーブミスが続き、差がつかないゲームだった。大四の速攻主体の速いバレー対とわの森の小池・田城を軸にしたオープン攻撃との闘いだったが、接戦の末、コンビにズレが生じた大四に対して、最後まで大きい攻撃を貫いたとわの森が勝利。
 2セット目 大四のブロックが立て続けに3本決まり、速攻をこなしてリズムに乗り終始リードした。とわの森は4番田城にトスを集中して追い上げたが、最後はブロックでシャットアウトされ敗れた。
 3セット目 お互いにミスが多く、その中で攻撃を広域に散らし始めた大四がとわの森のブロックをかわしてリードしたが、とわの森は4番田城があたり始め、更に連続ブロックも決まり、瀬戸際でジュースに持ち込んだ。その後一進一退を繰り返したが、大四の大竹が連続して苦しいトスをポイントにつなげ、勝利を呼び込んだ。大変に白熱した試合だったが両チームとも3年生から1・2年生への引き継ぎに目途がたったように見受けられた。今後を楽しみにさせるゲームだった。
 なお、東海大四は6年ぶり31回目の優勝、4年連続41回目の全国大会出場、とわの森は2年連続8回目の全国大会出場となります。

大会名 第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦

日時 平成25年11月19日(火)~22日(金)
会場 北海道立総合体育センター

大会委員長 大 江 憲 一
競技委員長 大 田 中 和 彦
審判委員長 鈴 木 和 章
総務委員長 山 上 彦 治

【女子】



【女子決勝 戦評】
1セット目序盤は札幌大谷4番小室のスパイクと旭川実業9番佐々木のブロックで一進一退の攻防となる。中盤に旭川実業10番廣瀬のスパイク・ブロックで流れをつかむと札幌大谷を突き放す。札幌大谷も9番森元のサーブから流れを引き戻すも25-21で旭川実業が1セット目を先取した。
2セット目は、お互いスパイクミス・サーブミスなどが目立ち、流れをつかめないながらも中盤まで粘り強いレシーブで我慢比べが続く。札幌大谷1番鈴木から流れをつかむも、旭川実業3番関口のサービスエースや旭川実業10番廣瀬のスパイク・ブロックで流れを引き戻し一進一退が続く。札幌大谷も4番小室の攻守にわたる活躍で一歩も引かないが最後は10番廣瀬のサービスエースで 36-34で旭川実業が勝利した。
なお、旭川実業は9年ぶり19回目の優勝、2年連続25回目の全国大会出場、札幌大谷は3年連続12回目の全国大会出場となります。